

NEWS LETTER Vol.04

第3回策定委員会を開催しました！

令和3年10月27日に、第4期北名古屋市地域福祉計画・地域福祉活動計画 第3回策定委員会を開催しました。

小木曾早苗委員長の進行のもと、委員13名(欠席2名)により、「第4期北名古屋市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の素案について、熱心な協議が行われました。



第4期北名古屋市地域福祉計画策定委員会 委員名簿

機関・団体・事業所名	職名	氏名	備考
日本福祉大学 アジア福祉社会開発研究センター	客員研究所員	小木曾 早苗	委員長
北名古屋市民生委員児童委員協議会	会長	井上 忍	副委員長
豊かな学び創造推進協議会	委員	岡島 啓子	
天神中学運営協議会	委員長	加藤 修一郎	
北名古屋子ども会連絡協議会	会長	佐瀬 智彦	
鹿田防災サポーター	会長	十良 裕樹	
北名古屋市商工会青年部	部長	田島 雄	
北名古屋市心身障害者福祉協会	会長	高桑 金平	
社会福祉法人 西春日井福祉会 相談支援センター 尾張中部福祉の杜	所長	玉井 一男	
NPO法人 次世代健全育成サポート あひるっこ	代表理事	中田 るり子	
北名古屋市健康づくり推進員OB会	会長	永津 優子	
株式会社総合福祉サービス J・You じゃがいも	代表	早川 京子	
北名古屋市老人クラブ連合会	会長	加藤 成彦	
清須保健所	健康支援課長	戸田 輝子	
北名古屋市ボランティア連絡協議会	会長	吉田 彩子	

計画案の概要

計画案は、前期計画の基本理念『出会い ふれあい 支えあい 共に生きるまち 北名古屋』を継承しつつ、地域共生社会をめざしていくため、新たに「3つの基本目標」、「9つの主要施策」を定め、自治会や小中学校区を単位とした「小地域福祉ネットワーク※」を推進・強化していくことを基本的な枠組みとしています。

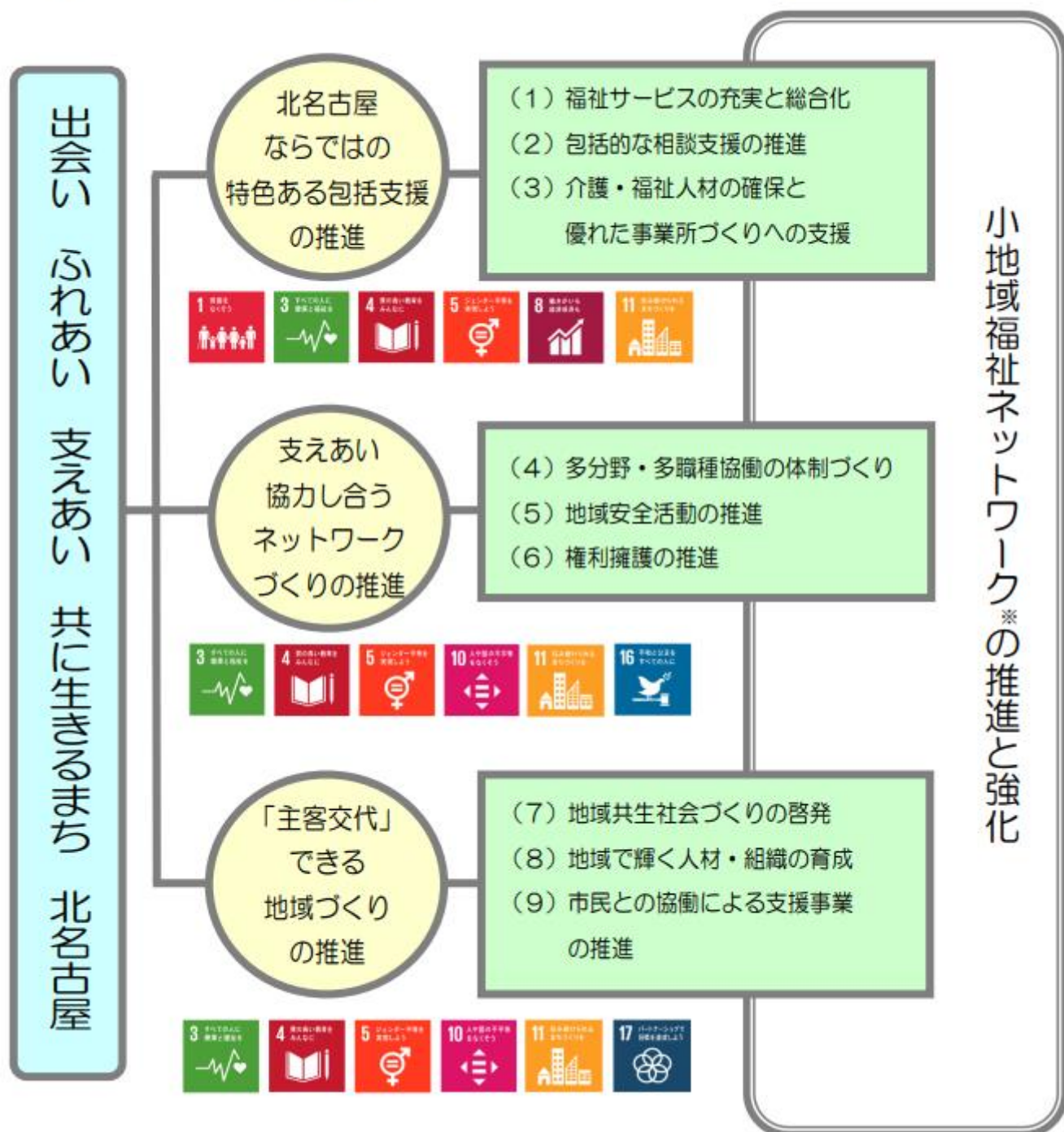
また、国連の「SDGs」(持続可能な開発目標)との関係性を示し、住民、団体・事業所、北名古屋市社会福祉協議会等、北名古屋市が共に施策を推進する持続性と実効性のある計画をめざしています。

第4期北名古屋市地域福祉計画・地域福祉活動計画の施策体系

《基本理念》

《基本目標》

《主要施策》



※小地域福祉ネットワーク：自治会や小・中学校区などの小地域を基礎に、多様な住民活動をいわば「網の目」のようにつなげ、地域生活課題の解決をめざす体系的な活動。

◆策定にむけて

第3回策定委員会で出された意見を反映した計画案をもとに、令和3年12月に、広く市民の皆様を対象とした「パブリックコメント」(意見募集手続)を予定しています。

皆様の声を施策に反映させるため、ご意見をお待ちしています。



★★★策定委員会での意見をご紹介します★★★

[A委員] 「今、このことで本当に困っている」ということを言える場所を作ってほしい。お金のことや、子どものこと、お年寄りのこと、健康のことなどで、本当に困っている人はいると思う。

[委員長] 地域福祉は「予防的福祉」とも言われている。「重篤化」してからではなく、様々な交流やおしゃべりをする中で、困っていることや悩みごとをぽろっと口に出したり、他の人に聞いてもらえるような場が必要だ。

[B委員] ワークショップで現場の声を聞くというアクションは本当に良かったと思う。

[委員長] ワークショップには大学生も参加して、熱い想いを語ってくれた。多世代、多文化の人たちがフラットに話し合える素敵な場が市内で増えていけば良い。

[C委員] 避難所運営訓練をした時、どういう人がその地域に住んでいて、どういう手立てが必要か、例えば足腰が悪いのか、移動に機器が必要なのか、そこには何時頃どういう家族が揃っているかなど、様々な情報を事前に把握しておく必要性を強く感じた。計画案にもあるように、地域福祉計画は、地域防災計画をはじめ、まちづくりと強く関わりがある。

[委員長] 防災はコロナ対策と同様に、すべての人々に関わる事象なので、これから地域福祉計画を推進していく時にも、是非、C委員が感じたような視点を意識して関わっていただきたい。

[D委員] コロナ禍による影響を示したデータで、生活困窮に関する相談件数がとてつもなく増えていることを知り、北名古屋市でも大きな影響が出ているということを再認識した。現況に気づくことにより、具体的に何ができるかということを考えるきっかけにしていきたい。

[委員長] コロナ禍により、困っているのに相談しなかった人が、相談につながったという側面はあると思われる。まだまだ苦しさを訴えきれない人たちが、北名古屋市にも隠れているという視点を持って、地域福祉計画に取り組んでいただきたい。

